



あなたのこれからに贈りたい
Live Letter from MG



15

サークル紹介

ダンス部 MGDC / 宮城学院女子大学聖歌隊

13

My way MG way

卒業生の仕事場訪問

09

CAMPUS NEWS

07

特集

宮城学院クリスマスを祝う音楽会

05

学問へのいざない

「健康を保つ室内の空気環境と設備」を学ぶ
「西洋史を通じて女性の生き方」を学ぶ

01
誌上ゼミ

フィールド研究を中心に活動し
保育環境への理解を深める

「Partir (パルティール)」はフランス語で「出発する」
新しい時代に飛び立とうとする女性たちを支え、励ますために、
宮城学院女子大学から発信するコミュニケーション情報誌です。

フィールド研究を中心とした活動

幼稚園の環境領域について幅広く学び、現場で活躍するプロを目指す

それぞれ興味のある分野で
卒業論文のテーマを設定

伊藤
まずは皆さん、卒業論文の提出お疲れさまでした。このゼミでは、将来幼稚教育の現場に携わる学生のために、主に保育の環境領域について学んでいます。3年次の前半では合同ゼミを行い、被災地研修などフィールドワークにも出かけました。後半は自分の興味のある保育に関する研究論文選び、ゼミで発表・考察する場を設けました。4年生からは実際に自分のテーマを決め、1年かけて卒業論文に取り組ん

できましたね。それぞれ取り組んだ卒論のテーマについて教えてください。

佐藤
私は「保育者援助の実態を明らかにする」というテーマで研究を進めました。

例えは主活動として体を動かす遊びだったり、手先指先を使う工作だったり、そのような場面における保育者の援助はどのようなものか、また食事やおやつの場面での援助はどのようなものかなどを考えました。保育援助に関する様々な論文を分析し、援助の他にも保育活動における支援、指導、配慮などに着目し、それらの相違点を考察するなど、保育の幅広い面から実態を明ら

かにするようにしました。

新野
私は北欧と日本の保育環境の比較をするテーマに選びました。北欧の中でもスウェーデンとフィンランドに着目して、保育室内の装飾や保育の歴史、育児休業の実態の比

較なども行いました。

伊藤
海外との比較は発見や学びが多くたと思いますが、新野さんが北欧を選んだのはなぜですか？

新野
大学1年生のときに、授業でスウェーデンの小学校の職員室の写真を見たことがきっかけです。日本の職員室と全然違つて、北欧はリビングのようなアットホームな空

教育学部 教育学科
伊藤 哲章 准教授

【教育学部 教育学科のみなさん】
志賀 美月さん
菅澤 柚音さん
佐藤 尋菜さん
二千佳さん
新野 二千佳さん



※撮影時のマスクを外しました。



伊藤 哲章 准教授



佐藤 尋菜さん



菅澤 柚音さん

間でした。そこから興味が湧き、研究テーマにしてみました。

菅澤 私は、自然環境における非認知能力の育成に関する研究をテーマにしました。非認知能力とは、目標達成のために取り組む姿勢や他人との調和など、日常生活・社会活動において重要な影響を及ぼす能力のことです。実習でお世話になつた園が、園庭の木や葉っぱなど自然にあるものを使った遊びを多く取り入れていたことから、この関わりについてもつと深く調べて

志賀
私は、特別な配慮を必要とする子どもの保育者の援助について研究しました。実際に幼稚園で3ヶ月間お世話になり、保育の中に入らせていただきました。特別な配慮を必要とする子どもに対し、具體的に保育者がどのような声かけや行動をしているのかなどを現場から学ぶことができ、とても有意義なフィールドワークになりました。

伊藤
本学に赴任して3年目になりますが、印象に残っている学び

当しているので、基本的には保育環境についての学びがメインですが、卒論のテーマに関しては強制ではありません。皆さんそれぞれ、自分が興味を持ったテーマでしっかりと学びを深められたようですね。

志賀
印象に残っている学び

多いと感じます。教員がリードして細かく教える必要はなく、自分の力で課題解決をする力があり、学ぶ姿勢も積極的です。強いて言うならもう少し私を頼ってくれても良かったのになど、皆さんの自主性の高さにほんのちょっと寂しさも感じました。

志賀
そうだったのですね。私は、卒論でフィールドワークを行う際、実習先の園探しで先生に尽力していただき、本当にありがとうございました。

伊藤
今年のゼミ生は14名と多かつたので、本学附属の「森のこども園」に学生が集中してしまわないように私とご縁がある園をいくつか紹介しましたね。卒論の調査のためだけに園へお邪魔するのもご迷惑がかってしまうので、保育補助ボランティアという形でフィールドワークへ行つてもらいました。

菅澤
実習先を決めるのは大変なので、先生に調整していただきとても助かりました。また、卒論に関する個別指導も丁寧に

伊藤 ゼミで事前にしっかりと勉強してから被災地研修に参加したことで、皆さんの中できいろいろな気付きや理解を深めることができたのではないでしょうか。

菅澤 私はこの研修に参加して、お話を伺う
感じました。

転手たつたら 保育士たつたら：と 様々
な立場で自分に置き換えて深く考えさせら
れる研修でした。自然災害はいつ起るか
わからないので、保育現場で臨機応変に対
応する力や、冷静さを保つことの大切さを

新野 実習を通して自分の課題は積極性だと感じているので、これからは積極的に子どもたちや職員の皆さんと関わるよう心がけたいです。

菅澤 私はこれまで、性格的にも自分の意見をハッキリと言えないことが多かったのですが、春からはプロの保育士として子どもたちと関わることになるので、自分をしっかりと持ち、責任感を持って行動するよう心がけたいと思っています。

佐藤 私の内定先は開園して間もない新しく保育園ですが、実習でお世話になつた際に、子どもたちが保育士を信頼し、安心し

志賀 最初は保育の現場に慣れることから始まると思いますが、経験を積んでいく中で子どもの気持ちを汲み取って対応できる保育士になりたいです。子どもの姿は日々変わっていくものなので、自分がどう保育者として関われるのかを考えながら、徐々に覚えていきます。

伊藤 そう言つていただけると嬉しいですね。皆さんはちょうどコロナ禍での大学生活で、苦労もあつたと思いますが、そんな中でもゼミ活動で印象に残つていることがあれば教えてください。

菅澤 私は4年生の春に、ゼミのみんなでお花見をしたことが印象深いです。コロナ禍では全員が集まる機会も少なかつたので、先生が買ってきてくれたお団子を食べながら楽しく過ごせたことは大切な思い出です。

A portrait of Shiga Mio, a young woman with dark hair and bangs, smiling. She is wearing a light-colored sweatshirt with a teddy bear graphic and a necklace. The background is blurred.

「になれない」という伊藤先生のお話に納得しました。授業の内容も非常に興味深く、自分の固定概念などを見直すきっかけになりました。





「西洋史を通じて女性の生き方」を 学ぶ

学芸学部 人間文化学科 櫻井 美幸 准教授



ドイツ史における 女性教育について研究

小学生の頃に、姉が読んでいた漫画「ベルサイユのばら」との出会いがきっかけで、西洋史への憧れと興味を抱きました。「西洋史をテーマにした漫画を描きたい」と思い、大学生までの夢は漫画家になることだったのです。しかし、残念ながらその夢を叶えることは難しいと判断し、西洋史の研究者になる道を選びました。現在の専門領域は、16世紀～17世紀のドイツ社会です。中でも、この時代の

ゼミでは、卒論のテーマは西洋史に限らず、分野の幅を広げて学生に決めてもらいます。なるべく本人の自主性を大切にしたいので、こちらから誘導するようなことは極力していません。私自身、今までの恩師が自

史料から「共感」を 紐解く面白さ

業のエンジニアとして活躍することもできます。本学は文系意識の強い学生が多いようですが、この分野は高校までの数学や理科の知識があれば十分理解できるので、建築学部や建築学科の人たちに負けないようになります。まさに今、世間の関心が高い分野といえますね。

時代のニーズが高く 活躍の幅も広い分野

この分野を学ぶことで将来どのような道が拓けるかというと、まず一つは総合建設業の設備設計です。今は特に、カーボンニュートラルが叫ばれる時代。建設設備が消費するエネルギーを最小限にするためには、そもそもそのデザインや意匠の部分から考へる必要があります。建築の「見た目」を担う意匠設計に携わる人も、建築環境・設備の勉強を十分にしておく必要があります。さらに、建築設備

もできます。本学は文系意識の強い学生が多いようですが、この分野は高校までの数学や理科の知識があれば十分理解できるので、建築学部や建築学科の人たちに負けないようになります。また、建築関係の職種を目指さない学生たちにも、住まい手として知つておきたい知識がたくさん詰まつた学問なので、興味を持つて学んでもらえると嬉しいです。



Profile

神奈川県藤沢市出身。2011年に日本女子大学大学院文学部史学専攻修了、京都大学大学院文学研究科歴史文化学専攻博士課程修了。その後、非常勤講師や専業主婦などを経て、夫の転勤を機に宮城県へ。2012年4月から現職。○信条は「雑草は死なない」

私のおすすめ本

マージェリー・ケンプの書 著(訳)：石井美樹子、久木田直江

14～15世紀のイギリスで、敬虔なキリスト教徒であったマージェリー・ケンプという女性が、ヨーロッパ各地巡礼の旅を口述筆記した自伝、女性視点で記されている貴重な記録で、当時の女性が何を考えていたかなど、生き方も含めて気づきの多い一冊です。



これが学びのツボ！

当ゼミを選ぶのは、ヨーロッパの歴史や文化に興味のある学生が多いと思います。ぜひ、自分ならではの研究テーマを見つけて学びを深め、「昔の人と対話する」面白さと出会ってほしいです。

私のおすすめ本

深夜特急 著：沢木耕太郎

インドのデリーからイギリスのロンドンまでをバスで旅する紀行小説です。自分の内側ばかりを見ていると行き詰まってしまうこともあるので、こういう外の世界に目を向ける本を読むことで、気が楽になったり、エネルギーが湧いたりするのではないでしょうか。



これが学びのツボ！

本学の学生さんたちはとても真面目に授業を受けている印象ですが、少し控えめな方が多いように感じます。受け身になりすぎず、ある意味図々しくらいに質問しに来てほしいなと思います。

民間企業の経験を経て 室内空気質の専門へ

生活科学部 生活文化デザイン学科 長谷川 麻子 教授

私は大学卒業後、研究者になりましたが、大学院の入試に落ちてしまい、一度は民間企業に就職しました。しかし、当時欧米で問題となっていたシックビルディング syndrome のことを知り、「これからは室内空気汚染の健康影響が世界的な問題になるはず」と確信し、研究畠に戻ることを決意しました。仕事をしながら大学院の受験勉強をするのは大変でした。挑戦してみてよかったです。今は思います。

現在は、建物の室内環境と、それを作り出す建築設備の授業を担当しています。室内環境には空気・熱・湿気・音・光などがありますが、それぞれの物理的な性質や理論と、それをコントロールするための建築設備につ

いて教えています。最近の研究活動としては、新型コロナウイルスのクラスターが発生した病院や保育園などの施設で、空調や換気による気流の影響があったかどうかを調査しています。まさに今、世間の関心が高い

時代のニーズが高く、活躍の幅も広い分野

業のエンジニアとして活躍することもできます。本学は文系意識の強い学生が多いようですが、この分野は高校までの数学や理科の知識があれば十分理解できるので、建築学部や建築学科の人たちに負けないようになります。まさに今、世間の関心が高い

時代のニーズが高く、活躍の幅も広い分野

この分野を学ぶことで将来どのような道が拓けるかというと、まず一つは総合建設業の設備設計です。今は特に、カーボンニュートラルが叫ばれる時代。建設設備が消費するエネルギーを最小限にするためには、そもそもそのデザインや意匠の部分から考へる必要があります。建築の「見た目」を担う意匠設計に携わる人も、建築環境・設備の勉強を十分にしておく必要があります。さらに、建築設備

もできます。本学は文系意識の強い学生が多いようですが、この分野は高校までの数学や理科の知識があれば十分理解できるので、建築学部や建築学科の人たちに負けないようになります。また、建築関係の職種を目指さない学生たちにも、住まい手として知つておきたい知識がたくさん詰まつた学問なので、興味を持つて学んでもらえると嬉しいです。

Profile

宮城県出身。1990年に千葉工業大学建築学科卒業。その後、1997年まで新日本空調株式会社で初の女性技術職として勤務。1997年～2002年の間で工学修士、博士（工学）を取得。2002年～2022年に熊本大学工学部建築学科で助手→助教→准教授を務める。2022年4月から現職。○信条は「If you can dream it, you can do it.（夢があれば叶う!）」

聖歌隊・ハンドベルクワイア

美しいハンドベルと讃美歌の音色で礼拝堂はクリスマスムードに包まれました。



MGPR

自主活動団体「MGPR」のメンバーが総合受付や案内係を務めました。



同時
開催

BRANCH クリスマスマーケット

当団は「BRANCH仙台」でクリスマスマーケットを行っており、学生団体によるブース出展や、両会場をつなぐスタンプラリーも行われました。



宮城学院

クリスマスを祝う音楽会

* 12月10日(土)、「宮城学院クリスマスを祝う音楽会」が開催され、約400名の方にご来場いただきました。様々なジャンルの音楽が演奏され、クリスマスを盛大にお祝いしました。在学生も様々な形で企画に参加しました。

音楽科

音楽科企画の「讃美歌で紡ぐクリスマスものがたり」は、聖書の言葉と讃美歌の響きを、美しい絵本とのコラボレーションで披露しました。小ホールは、立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。



ウインドオーケストラ部

大学講堂にてミニコンサートを行い、クリスマスソングメドレーを演奏しました。

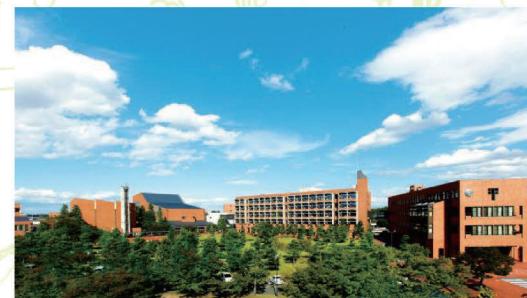


Campus News

授業やサークル、学外活動など、学生たちの活躍や大学の取り組みをレポートします。

本学キャンパス 緑の都市賞受賞

10月14日（金）、公益財団法人都市緑化機構が主催する「第42回緑の都市賞」の選考結果が発表され、「緑の市民協働部門」において、学校法人宮城学院および水の森里の会が国土交通大臣賞を受賞しました。



1981年に創設された緑の都市賞は、緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、緑の保全・創出活動に貢献した「みどりの文化」の発信が高く評価されました。

都市部に残る貴重な緑地を、杜の緑のグリーンインフラとして捉え、宮城学院と市民団体が共同で保全・再生に取り組んでいる点、自然環境を活かした教育プログラムの創出、豊かな心を育む学び舎の醸成、地域コミュニティと連携した「みどりの文化」の発信が高評価されました。

●全東北学生競技ダンス選手権大会 3位入賞
仙台で開催された「第一〇四回全東北学生競技ダンス選手権大会」（通称、秋大会）において、心理行動科学科2年、競技ダンス部所属の大和田空良さんが、東北大学の男子学生とペアで出場し、それぞれ3位に入賞しました。

本学の競技ダンス部は、東北大学など他大学の男子学生とペアを組み、東北や全国各地の大会に出場しています。他大学との合同練習であるため、活動できる時間が限られる中、こつこつと積み重ねてきた練習が結果に結びつきました。

●2022年少林寺拳法全国大会 3位入賞

大阪少林寺拳法連盟が主催する「2022年少林寺拳法全国大会in Osaka」にて、心理行動科学科・4年で少林寺拳法部の鎌田祐衣さんが、本学OGで現在コーチを務める根本圭さんとともにペアで出場し、一般女子初・二段の部において3位に入賞しました。

鎌田さんは昨年度部長を務めていましたが、昨年度までは新型コロナウイルス感染症により活動が制限され、全国規模の大会に出場できる機会はなかなかありませんでした。部員として最後の年に修めた好成績は、後輩たちにも刺激を与えたことだと思います。

【鎌田さんのコメント】

「今年で学生最後の年でしたが、約半年間練習に励んだ日々は本当に充実しており、とても貴重な経験をさせていただきました。これまで沢山の方々がご指導や応援をしてくださったので、本ちは優勝メダルを持ち帰りました」と悔しさがあります。来年東京で世界大会が開催予定なので、今回の経験を活かして卒業後も挑み続けたいと思います。沢山のご指導ご声援ありがとうございました。」

そのはちみつを使用したこのビールは、株式会社藤崎百貨店様と、地元仙台の気鋲の醸造所であるバッジ・ブルーイング様とのコラボレーションにより実現しま

した。



はちみつビール 発売

本学で採蜜された「水の森自然休養林のはちみつ」を使用したクラフトビールが、藤崎百貨店様にて11月に限定発売されました。

学生たちが本学で育てているミツバチは、木々の受粉を助け、豊かな森をつくる循環を生み出しています。その宮みから生まるはちみつを採取して瓶に詰め、付加価値をつけて市場に販売する。はちみつの生産から販売までを貰く「六次産業」ビジネスを実践的に経験し学ぶことが、みつばち事業プロジェクトの目的です。

そのはちみつを使用したこのビールは、株式会社藤崎百貨店様と、地元仙台の気鋒の醸造所であるバッジ・ブルーイング様とのコラボレーションにより実現しま

した。

日々活躍する現代の女性たち」をターゲットにし、「一日仕事を頑張ったご褒美にこのビールを飲んで、とっときのキラキラした宝石のような時間、『ジュエリータイム（Jewelry Time）』を過ごしてほしい」という思いを込め、「ジュエリータイム Winter Night-Yellow 蜂蜜&レモン・魅惑のハーモニー」と名付けられました。とても爽やかな味わいに仕上がりました。

【鎌田さんのコメント】

「今年で学生最後の年でしたが、約半年間練習に励んだ日々は本当に充実しており、とても貴重な経験をさせていただきました。これまで沢山の方々がご指導や応援をしてくださったので、本ちは優勝メダルを持ち帰りました」と悔しさがあります。来年東京で世界大会が開催予定なので、今回の経験を活かして卒業後も挑み続けたいと思います。沢山のご指導ご声援どうもありがとうございました。」

競技ダンス部・少林寺拳法部 入賞



現代ビジネス学科石原ゼミ 会津おでんプロジェクト始動



10月18日（火）、現代ビジネス学科・
石原慎士教授のゼミが、会津若松市
の割烹「田季野」様において「會津お
でん」の商品発表会を開催しました。

福島県会津地域は、東日本大震災
後に観光入込客数が減少しました
が、2020年以降はコロナ禍に
よってさらに減少しています。また、
飲食事業者数も減少しており、会津
若松市の繁華街では空き店舗が増加
しています。

このような状況において、石原ゼ
ミでは、福島県会津地域の方々とど
もに地域産業の活性化の方策につい
て検討してきました。そしてこのた

び、会津地方の食文化や地域資源を
生かした「會津おでん」の普及を目
指すプロジェクトに着手することに
なりました。

当日、石原ゼミの学生たちはオン
ラインでプロジェクトのプレゼンテー
ションを行いました。飲食事業者、食
品メーカー、流通業の関係者に加え、
観光や教育の関係者、市議会議員の
方々にご参加いただき、また翌日に
は多くの新聞でも取り上げられまし
た。「會津おでん」には、会津地方の
郷土料理である「ごづゆ」の具材を油
揚げに詰めた「きんちやく」や、「三
シンの山椒漬け」をコンセプトに、新
規に開発した「会津天」などのおでん
種が含まれています。会津へ訪れた
際はぜひご賞味ください。

生活文化デザイン学科 青葉通り駅前社会実験に参加



生活文化デザイン学科都市デザイン
研究室（佐藤芳治ゼミ）では、仙台市
などで進めていく青葉通仙台駅前エリ
アの社会実験の場所をお借りし、ピク
ニックパークを計画、実施しました。

青葉通仙台駅前エリアの社会実験
は、将来仙台の顔として多くの人を
惹きつけ、他のエリアへと導く回遊の
起点となるために、道路空間の利活
用の効果、交通への影響及び都心にお
ける回遊の創出について検証を行う
ことを目的として行われました。

都市デザイン研究室では、9月
28、29、30日と10月4、6、10日の
計6日、車道に人工芝を敷いたエリ

夫しました。

英文学科主催 アイリッシュハープコンサートを開催



11月20日（金）、アイリッシュハ
ープ奏者・月輪まり子先生によるア
イリッシュハープコンサートが開
催されました。

これまで3回ほど、英文学科の
一年生を対象とした授業に月輪先
生を特別講師としてお招きしてお
りますが、今回は「アイルランドの
音楽と文化」をテーマにご講義い
ただきました。講義だけでなく、
アイルランドの生活と文化につい
て理解を深めるため、授業の一環
としてアイリッシュハープの演奏
を行っていただきました。

コンサート終了後は、アイリッ
シュハープに直接触れる機会を設
けていただき、学生たちは初めて
間近で見るアイリッシュハープに
歓声を上げていました。
講義で学んでいたアイルランド
の文化に直接触れることができ、
貴重な経験となりました。

人間文化学科 ジェンダーに関する講演会を開催

10月27日（木）、プラン・インターナショナル・ジャパンのアドボカシー・オフィサーである澤柳孝浩氏をお招きし、人間文化学会・国際支援活動Triangle共同開催でオンライン講演会を開催しました。

今回は「開発途上国の女の子・女性とジェンダー課題」というテーマで澤柳氏に講演いただきました。男女の賃金格差や識字率の違い、早婚などに関するクイズを通じて、開発途上国の女の子や女性がおかれた状況をわかりやすく説明しました。受講した学生からも「日本での男女の賃金格差はもちろん、世界の女の子の識字率の低さや早婚とともにな

う身体への危険や教育の機会の損失など、まだ男女では格差がかなり大きいのだと、具体的な活動が、どのような変化をもたらしているかについての事例も紹介されました。ラオスで子どもクラブを立ち上げ、それによって女の子が積極的に話をするようになったり、リーダーシップをとるようになったりと、エンパワーメントにつながっており、プランの活動が成果をあげていることがわかりました。

人間文化学科の様々な授業で取り上げているテーマとも重なり、開発途上国の女の子や女性のジェンダー課題について、あらためて知ることができた良い機会になりました。



佐藤 営業として土地活用を行うことが私の仕事です。皆さんもよく利用するコンビニやドラッグストアなどの建物のテナント様と、土地を持っている地権者様が私のお客様です。新しい店舗を作るための用地を探し、テナント様から「こういう場所に 出店したい」というお話を聞き、地権者様と交渉し、新規出店のための検討を行うことが主な業務です。また、複合商業施設やコインパーキングの開発・運営なども行っています。

青谷 私は営業担当が持ってきた依頼内容を元に、図面を書いて提案する意匠設計を担当しています。多店舗展開しているテナント様の物件の場合は決まった仕様があるので個人営業の物件は設計の自由度が高いため、お客様の意向を汲んで柔軟に提案します。今は育休中ですが、保育園が決まれば今年の10月に復帰する予定です。



ロードサイド店舗やコインパーキングなど、魅力ある土地活用と地域の活性化を推進する大和リース株式会社。



青谷さんは設計を行なうだけでなく、実際に動いている工事の現場に赴き検査などを行い、お客様への引き渡しまで一貫して監理する。



「地権者様が完成した建物を見て喜んでくださると、達成感とともに温かい気持ちになります」と佐藤さん。

現在の仕事内容を教えてください。

佐藤 建築を通じて大学での学びを生かし地域の暮らしを支える



大和リース株式会社 仙台支社
佐藤 麻奈津さん（左）
青谷 愛実さん（右）

※撮影時のみマスクを外しました。

学生時代の学びや経験で生がされていることはありますか？

携して一つの店舗を作っていく現在の仕事に通じるものがあると思います。

青谷 確かに、授業以外で経験したこと、今の自分を支えてくれていると感じます。私はバレーボールを続けた

佐藤 もともと人の内面に興味があり心理学科を選んだので、「この人は何を考えているのか」と相手の内側を理解しようとする姿勢は、信頼関係が大切な今の仕事に生きていると思います。また、フィールドワークに出る機会が多かったので、今でも社内にいるより外に出て土地を探しに行ったり、お客様のところへ伺う癖が付いていますね。

青谷 大学では建築デザインや力学など、建築に必要な分野を幅広く学びました。今は一级建築士の資格取得を目指してい、昨年学科試験に受かったのですが、大学時代に資格学校の先生が来て基礎を教えてくださったことなどがとても役立ちました。次は製図の試験が控えているので、時間を見つけて勉強したいです。

佐藤 私は学生時代、大学祭の実行委員を務めたのですが、たくさんの人と関わりながら、協力して一つのことを成し遂げる経験も、様々な関係者と連

きたらと 생각ています。

これから の目標は？

佐藤 私は営業なので、数字的な目標達成ももちろんですが、仕事を通してまちや人の暮らしを豊かにするお手伝いをしていきたいです。プライベートでは、最近始めたジムで体作りを頑張りたい

青谷 まずは一级建築士の資格を取ることです。仕事復帰したら最初は大変かもしれません、仕事とプライベー

トを両立しつつ、自分の時間も確保できたらと 생각しています。

Profile 佐藤 麻奈津さん

福島県で生まれ、幼少期から宮城県仙台市で育つ。泉館山高等学校卒業。2017年に宮城学院女子大学学芸学部心理行動科学科卒業。同年4月から大和リース株式会社に入社。現在は営業として店舗などの開発に携わる。

Profile 青谷 愛実さん

宮城県宮城郡利府町出身。宮城野高等学校卒業。2017年に宮城学院女子大学生活文化デザイン学科卒業。同年4月から大和リース株式会社に入社し、主に店舗などの意匠設計を担当。2022年に出産し、現在育児休業中。

サークル紹介

Circle introduction

ダンス部 MGDC

- 部員数：33名
- 活動日：週2回（火、木）、大学祭やイベント前は不定期
- 活動場所：体育館、小ホール
- Twitter : @mgu_dance
- Instagram : @mgu.dance

誰もが楽しく一生懸命になれる場所

経験者や先輩が中心となり、良いものをつくりあげようと一生懸命練習に励んでいます。経験の有無や学年に関係なく、互いにアドバイスしたり一緒に振り付けを考えたりして楽しく活動できるのは、一番の魅力だと感じます。「ダンス同好会」として先輩方が今のサークルの雰囲気を築きあげてくださったおかげで、「ダンス部」に昇格し、活動することができています。

MGDCのことを多くの人に知ってもらいたい

サークル以外の時間も仲間と一緒にいることが多いです。話題はサークルのことが多く、部員のここが好き！ということからお悩み相談まで、部員同士の仲が良いと感じる瞬間がとてもあります。今後は学外でのイベントに参加することを目標に、最終的な発表の場である大学祭で多くの方に見ていただけるように活動していきたいです。



普段の練習の様子



「クリスマスを祝う会」の
ミニコンサート



伊藤 優希さん
(音楽科3年)



大学祭OPの最後のポーズ
全員で盛り上げました！



部長
中村 清乃さん
(日本文学科2年)

宮城学院女子大学聖歌隊

- 部員数：17名
- 活動日：金曜日
- 活動場所：礼拝堂
- Twitter : @MGU_choir

多くの方を笑顔にできる音楽を届けたい

様々な演奏の場に向けて日々練習に取り組んでいます。昨年度は定期演奏会と大学祭が同時開催となり、多くのお客様に演奏を聴いていただきました。また、「クリスマスを祝う音楽会」でのミニコンサートや、公開クリスマス礼拝での讃美演奏も行いました。指導してください船橋先生から時々いただくお土産やお菓子が、練習の励みにもなっています。

歌うことが好きな仲間

知っている曲が実は讃美歌だったり、曲の背景を聞いて理解を深めることができたり、聖歌隊に入ってきた新しい発見や魅力に気づくことができました。パイプオルガンの美しい響きに包まれながら歌うことで、幸せな気持ちになります。音楽科が多いイメージを持たれますが、実際は様々な学科の学生が所属しており、一人では歌えない曲、仲間がいるからできる音楽というものを、活動を通して実感しています。



@miyagaku_pr



@mgu.ac.jp



@miyagaku_pr